

	申請者氏名	渡邊 浩
論文名	Observation of the valence fluctuation by time-resolved reflectance on Yttrium doped Samarium mono-sulfide	
国際会議名	ICM2018	
開催地	アメリカ合衆国 カルフォルニア州 サンフランシスコ	
参加期日	2018年7月15日～20日	
参加目的：		
<p>当国際会議にてポスター発表を行うこと、および磁性の分野全体での最先端の研究に対する情報収集を目的として参加した。申請者はレーザーを用いた超高速時間分解測定および THz 分光測定を専門としているが、これらの手法、特に THz 分光の技法が磁性の分野でも取り入れられて始めており、それらの研究についての情報収集も行った</p>		
会議の状況：		
<p>当国際会議は磁性の分野で最大規模会議であり、2000 人近い参加者が世界から集まり毎日 10 近い口頭発表が同時に開かれ大変盛況であった。申請者が行ったポスター発表も 1000 人を超える発表者がいたが 8 回に分かれて発表が行われ、会場もとても広かった為、連日沢山の人が集まり活発な議論が交わされていた。</p>		
成果概要：		
<p>申請者は強相関 4f 電子系の一つであり、価数揺動相転移を示すことが知られている SmS における時間分解反射率測定の研究をしており、その成果についてポスター発表を行った。強相関 4f 電子系における研究はこれまで多数行われてきたが、光照射後の超高速ダイナミクスの研究はほとんど行われておらず、これまでとこなかった視点での研究を紹介できたと考えている。ポスター発表は盛況であり、今後の研究につながる議論が行うことができた。</p> <p>また口頭、ポスター共に様々な最先端の研究結果が発表され、磁性という分野全体での動向を知ることができた。特に申請者の専門分野である超高速分光および THz 分光はこれまであまり磁性の分野では使われていた手法であるが、近年多数の研究が行われ発表されているのを知ることができたのはとても有意義であった。このような実りの多い会議への参加をサポートしていただいた湯川記念財団の皆様には大変感謝しております。</p>		